

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	学外実習Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		2022-422		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		実験・実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		制御情報工学科		対象学年		5	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材		教科書無し					
担当教員		山崎 悟史					
到達目標							
1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。 2. 企業における業務遂行を体験できる。 3. 体験した業務遂行内容を的確に報告または発表できる。							
ループリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。		社会人としての最低限のマナーを遵守できる。		社会人としての基本的なマナーが遵守できない。	
評価項目2		企業から与えられた体験業務について十分に遂行できる。		企業から与えられた体験業務について、最低限の遂行ができる。		企業から与えられた体験業務を遂行できない。	
評価項目3		企業や指導教員から報告・発表を求められれば的確に実践できる。		企業や指導教員から報告・発表を求められれば最低限は実践できる。		企業や指導教員から報告・発表を求められた際の対応ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 5							
教育方法等							
概要		企業や大学、研究機関等での実習を通じて、実習先の研究者等、先輩技術者から指導を受け、これまでに学んだ知識を活かして実際の現場での技術を修得する。このため、主として夏休み期間中に1週間インターンシップによる企業体験を行う。 また、学外実習の経験を今後の学習及び自身のキャリア育成に役立て、技術者としての意識を高揚させることを目的とする。					
授業の進め方・方法		次の1、2のいずれかの方法をとる。 1. 教務係が受理した受入企業の募集要項から学生が希望する企業を選び、実施する。 2. 学生の希望を元にクラス担任が受入企業の実習内容を精査し、適当とみなした場合に実施する。					
注意点		1.実習で用いた、あるいは作成した資料は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観の対象外となります					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	学内の事前説明会にてビジネスマナー等を学習する		参加(必須)。		
		2週	必要書類の準備と提出		提出し受理されること。		
		3週	インターンシップ(10日間集中)		受け入れ先企業にて設定される。		
		4週	報告・発表		的確に表現できる。		
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	実習報告書	口頭試問	自己評価	合計	
総合評価割合	70	20	10	100	
基礎的能力	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	70	20	10	100	